



# 栃木県立足利高等学校



所在地 〒326-0808 足利市本城1丁目1629番地  
電話 0284-41-3573  
F A X 0284-43-2470  
U R L <https://www.tochigi-edu.ed.jp/ashikaga/nc3/>  
創立 明治42年  
課程 全日制課程  
設置学科 普通科  
生徒数 980名(男子468名 女子512名)(令和3年5月1日現在)  
※男子は足利高等学校、女子は足利女子高等学校の人数。  
利用交通機関 JR足利駅から自転車利用で約10分  
東武伊勢崎線足利市駅から自転車利用で約15分

## I 学校の概要

### 1 学校教育目標

教育理念(校訓):「進取」「忠恕」「自学」

教育目標:高い志と知的好奇心を持ち、豊かな感性と良識を身につけ、次代を逞しく拓いていくことのできる有為な人材を育成する。

### 2 目指す学校像

進取、忠恕、自学の教育理念のもと、全ての教育活動を通し、次の生徒を育成する学校

○確かな学力と広い視野を身につけた生徒

○主体的に課題を見だし解決しようとする意欲と協働性を身につけた生徒

○郷土愛にあふれ、グローバルリーダーとしての国際感覚を身につけた生徒

○自他を敬愛し、社会に貢献しようとする姿勢を身につけた生徒

○新たな価値をつくりだし時代を切り拓く強い意志と創造性を身につけた生徒

### 3 募集する生徒像

本校を強く志願する生徒で、本校の教育目標と目指す学校像を理解し、次の(1)から(3)までのすべてに該当する生徒

(1) 将来に向けて高い目標をもち、その実現に向けて努力する生徒

(2) 学習意欲にあふれ、主体的かつ粘り強く学習に取り組む生徒

(3) 部活動・生徒会活動・学校行事などに全力で取り組む生徒。

## II 教育課程の特色

[進学に重点を置く普通科単位制]

### 1 希望する大学への進路実現に向けた応用力や実践力を身に付けることができる教育課程

①単位制の利点を生かし、3年次では50を越える科目を設定します。

→興味・関心に応じた学問を学ぶことができます。

②普通科進学校として、難関大学を始め希望する大学への進路実現に向けた発展的な学習を受講することができます。

→医学部や国立大学、難関私立大学への進学が実現できます。

→理科の3つの基礎研究科目では、文型の生徒が2年次までに学んだ各基礎科目の内容について、より発展的な学習を行います。

③大学での学びを先取りすることができます。

→選択科目「社会学概論」や「科学英語」など、大学での課題研究的な学びや英語で書かれた最新科学論文を読むことを想定した科目を設定しています。

④学習習熟度別授業や少人数授業を実施します。

→生徒一人一人の自己実現を支援するために、個に応じた手厚い指導を行います。

## 2 自ら考え判断し、その結果を効果的に表現する力を養う探究活動の推進

- ①「総合的な探究の時間」では、SDGsの視点から、『足利から世界へ』をテーマに探究活動を実践することができます。
- ②現足高がSSH指定を通して学んだ手法を継承し、科学的探究力を育むプログラムを実施します。  
→選択教科目「理数探究」では、実験・考察を通して論文をまとめる経験を時間をかけて行うことができます。
- ③選択科目「表現研究(国語)」「Presentation(英語)」などでは、「探究」で得た成果等と関連させながら、自分の意見や考えなどを他者に伝える表現力を、より一層伸長することができます。

### 令和4年度入学生教育課程表

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35			
1年次	現代の国語	言語文化	歴史総合	数学Ⅰ	数学A	数学Ⅱ	物理基礎	生物基礎	体育	保健	英語コミュⅠ	論理・表現Ⅰ	家庭基礎	情報Ⅰ	音楽書道Ⅰ	総探	LHR																					
2年次	文型	論理国語	古典探究	地理総合	公共	英語コミュⅡ	論理・表現Ⅱ	体育	保健	数学Ⅱ	数学B	数学C	化学基礎	地学基礎	世界史探究	日本史探究	文学国語	総探	LHR																			
	理型												化学基礎	化学	物理生物																							
3年次	文型	論理国語	英語コミュⅢ	論理・表現Ⅲ	体育	選択A	文学国語	世界史探究	日本史探究	※世界史特講	※日本史特講	※数学研究	地理探究	日本史探究	選択B	選択C	選択D	選択E	総探	LHR																		
	理型						理数探究	倫理	政治経済	地理探究	数学Ⅲ	数学C	数学特講γ	物理生物	化学																							
								※数学特講α					※数学特講β	物理生物	化学																							
														物理生物	化学																							

### 選択科目等一覧

☆	※応用ライティング	※フードデザイン	※情報の表現と管理
選択A	※古典研究	情報Ⅱ	※科学英語
	※音楽理論	※素描	※応用の書
選択B	※中古文学特講 倫理 ※文法・語法活用研究		
選択C	政治経済	※応用リーディング	選択D
	※演奏研究	※絵画	※書と文化
	※表現研究 ※社会学概論 ※化学基礎研究		
	※地学基礎研究 ※英語構文活用研究		
	※スポーツⅢ ※スポーツⅣ ※保育基礎		
	※器楽 ※構成		
選択E	※近現代文学特講	※生物基礎研究	※Presentation
	※クラフトデザイン	※実用の書	※スポーツⅡ ※ソルフェージュ

※は学校設定教科目 \*は専門科目

## Ⅲ 進路状況（令和3年3月卒業生）

合格実績（令和3年度実績、足利高校+足利女子高校のべ人数）

四年制大学

国公立（92名）

東京大1、東北大4、弘前大1、秋田大1、山形大4、福島大1、茨城大1、宇都宮大6、群馬大24、埼玉大5、千葉大2、新潟大4、信州大1、筑波大2、上越教育大1、東京学芸大3、東京農工大2、金沢大1、高知大（医）1、福島県立医大3、会津大1、秋田県立大2、山形県立米沢栄養大1、高崎経済大8、横浜市立大2、都留文科大2、前橋工科大2、埼玉県立大1、群馬健康科学大1、長野大1、長岡造形大1、東京都立大1、静岡県立大1

私立（590名）

早稲田大7、慶応大2、国際基督教大1、東京理科大12、明治大17、中央大12、法政大15、立教大5、青山学院大2、千葉工大1、獨協大13、文教大20、自治医大2、獨協医大9、白鷗大53、国際医療福祉大10、高崎健康福祉大13、学習院大3、北里大7、工学院大2、駒澤大3、芝浦工大15、昭和大1、成城大4、専修大9、大東文化大14、拓殖大2、玉川大1、東海大16、東京家政大2、東京女子大1、東京電機大18、東京農大15、東洋大21、日本大18、日本歯科大1、日本女子大3、東京都市大1、明治学院大5、同志社大3、立命館大3、近畿大3、他多数

## IV 特別活動等の紹介（学校行事、部活動等）

（学校行事）

- ・修学旅行 11月ごろ（2023年度予定） ・マラソン大会（11月末） スキー教室（12月）
- \*その他2022年度の学校行事については、両校合同の学校行事検討委員会で検討・再構築していきます。決定次第随時ホームページ等でお知らせします。

（部活動）

現在の足高・足女両校とも、部活動への加入率が高く、生徒が主体的に活動し、学習活動との両立を図っています。

【令和4年度統合時の設置部活動】

〔運動部〕

男子バスケットボール部	女子バスケットボール部
男子バレーボール部	女子バレーボール部
男子バドミントン部	女子バドミントン部
男子ソフトテニス部	女子ソフトテニス部
男子テニス部	女子テニス部
陸上競技部	剣道部
卓球部	水泳部
ダンス部（女子）	弓道部（女子）
ソフトボール部（女子）	ハンドボール部（男子）
野球部（男子）	サッカー部（男子）

〔文化部〕

社会研究部	茶華道部	合唱部
管弦楽部	英語部	書道部
美術部	科学部	写真部
家庭部	文芸部	演劇部
囲碁将棋部		

〔同好会〕

軽音楽同好会



授業は50分×7限です



自習室で放課後学習できます



部活動は高い加入率を誇ります



SDGsワークショップ



個別進路相談会



看護医療系ガイダンス

## V 特色選抜について

### 1 定員の割合

普通科20%程度

### 2 出願するための資格要件

中学校における学習成績が優秀で人物的にも優れ、大学に進学したいという明確な進路目標をもち、本校入学後も意欲的に学習に取り組むことができる者で、次の（1）、（2）のいずれか、又は両方に該当する者

（1）国語、社会、数学、理科、英語の学習成績が特に優秀な者

（2）中学校在学中、スポーツ、文化活動、生徒会活動、ボランティア活動などにおいて優れた実績をもち、本校入学後も学習と両立させながら、それらの活動に中核的な存在として積極的に取り組む強い意志をもつ者

## 3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間10分程度
小 論 文	時間50分 字数600字程度

## 4 その他、特記事項

なし

## 5 選抜の手順等

## 【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、
  - ①第1学年から第3学年までの「各教科の学習の記録」の評定（選択科目を除く）を合計する。（135点満点）
  - ②第1学年から第3学年までの国語、社会、数学、理科、外国語の「学習の記録」の評定を合計する。（75点満点）
  - ③調査書の点数化されない部分について、資格要件に該当するものを評価する。
- 3 面接及び小論文は、段階評価を行う。

## 【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

## 第1次審議

【資料の取扱い】の2①の点数の順位が、特色選抜の募集定員の80%以内にある者（ただし、受検者が定員に満たない場合は、受検者の80%以内にある者）で、2②の点数の順位が特色選抜の募集定員の80%以内にある者（ただし、受検者が定員に満たない場合は、受検者の80%以内にある者）を選び、3の評価が良好である者を合格内定とする。

## 第2次審議

第1次審議で合格内定となった者を除いた受検者のうち、資格要件（2）に該当する事項が顕著である者について、【資料の取扱い】の2①および3の評価が良好である者を合格内定とする。

## 第3次審議

第1次審議及び第2次審議で合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。